

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 26 2015.7.13

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

第3回チベットセミナー／第21回年次大会を開催

7月11日午後1時30分より島根県立大学交流センターにおいて「第3回チベットセミナー」を開催し、「能海寛研究会20年の歩み」を映像で振り返って20年間の事業蓄積を確認しました。午後2時から大谷寿一映画監督を迎えて「天空の英雄『ケサル大王』」の上映に先立ち、大谷氏から「能海寛の足跡と『ケサル大王』」と題して、ミニ講演をいただきました。「ケサル大王」の上映時間は、1時間35分で、7年間に亘る長期ロケのドキュメンタリー映画で参会者一同感銘を受けた映画会でした。この映画会に遠路広島市からも5名のご参加をいただきました。

研究会満20周年記念「チベットセミナー」、「年次大会」に対して、島根県知事溝口善兵衛氏、島根県議会副議長大屋俊弘氏、浜田市教育長石本一夫氏、浜田市議会議員芦谷英夫氏よりご祝辞をいただきました。

7月12日には、第21回年次大会を金城町波佐・ときわ会館で開催しました。来賓に大屋俊弘県議会副議長、芦谷英夫浜田市会議員の皆様から来賓祝辞を頂戴しました。午前中は総会を開催して、議案5件が原案通り承認されました。

午後1時から、「明治26年仏教夏期講習会と能海寛の西藏行」岡崎秀紀氏、「単語分布の構造と林木分布の構造から見えるもの」植田義法氏、「寺本婉雅関連新出資料と能海寛」高本康子氏の3件の会員による研究発表が行われました。

午後3時から、大谷寿一映画監督による「東チベットの現在」と題してミニ講演(左上の写真)をいただいた後、映画「天空の大巡礼を行く」を鑑賞しました。二日間の映画鑑賞で、能海寛の旅した、東チベットの現在の大自然と温暖化による環境の変化を知ることができ感慨深いものがありました。

